



職權乱用の真操蹂躪問題 五

投書の内容に就いて 花澤主任と彼女との

間に交換された質問應答

本社に寄せた投書の文字と筆蹟を同じうした事に依つて調査に従事して居た花澤主任と彼女との間に交はされた質問應答は同主任の直話に依ると大要左記の如くであつた

問「お前は常警毎日新聞に何か投書したをばいはいか」

答「此投書は本社宛の投書を示す」お前の書いたものだとお前が如何」

問「御推察におまかせします」

問「此投書に依ると紹介所の者に辱かじめられたと云ふ様な事項が書かれてあるがお前に對して實際その様な事があつたか」

答「其事に就いて私は貴方に對し何んども申上げる事が御座りませぬ」

問「事實あつたかなかつたかに就いてハツキリ答へを爲す譯には行かぬか」

答「貴方が投書を御覧になつたとすればヨク御事情はお解りと思ひます。私は此場合どうこうと申し上げ憎いのです」

問「お前は今になつて投書を後悔して居る様な事はないか」

答「後悔して居る様な事は無い」

屋食堂一棟、五間に十三間、で六十五坪の炊事場(洗面所風呂場をも含む)一棟更に此處を連絡すべき長さ七間宛の渡廊下二ヶ所及之れに附随する便所等であるが、尙明年も引續き、費一萬餘圓を以て事務室、病舎、物置各一棟宛を建築するを以て全部の完成を見てから盛大なる落成式を舉行するものであると

平電氣の不正事件は結局檢事が上告するか

平電氣重役に關する不正事件は平區裁判所に於て罰金刑を言渡され野崎滿藏外一名服罪したが栗原欣次郎外三名宮城控訴院に控訴中の處無罪を言渡された右に關し平町某辯護士は曰く「栗原外三名が控訴をするに云ふ事に對しては私共も到底望みがないので手を引いたのでしたがいま仙台の青山辯護士から無罪になつたとの通知に接し意外の感打たれた處です、多分控訴院では許可された水利権を財産と見た結果無一物の會社ではないとの見解からであらうと思ふのですが私共の如く實際に水道問題に觸れた者から考へると豫想外です而も多分檢事は上告する事になるでせう

才植小路は 緑川氏公認 第二回豫選會

平町搔搔小路青年分團員は結束して現分團長緑川喜三郎氏を擁立すべく過般來奔走中であつたが其結果昨夜開かれた同町第二回豫選會では

十九點緑川喜三郎、十六點阿部政右衛門、二點吉田伍平、一點齋藤丑松と云ふ数字に依つて緑川氏が明らかに第一位の與望を擔ふ事となつた

齋藤書記退職 平區裁判所書記齋藤時次氏は永年精勤の故を以つて衆望を一身に集めて居たが今回官途を退き執達吏に従事する事となつた

鹿島警備設備 石城郡鹿島村消防組第四部には警備なく非常の場合に不便少なくかつたが今回二百十圓にて警備を設ふべく決したと

鹿島火防督勵 石城郡鹿島村消防組には去る十日各分団二三名宛の組員を配置し火防督勵を執行したと

平驛連結手 今朝の出来事 平町白根町鐵道合宿所止宿双葉郡大野村大字東下生れ連結手新妻榮三郎(三)は本日午前十一時十五分平驛構内にて上り八百十八號客車が進行し初めたるに際し前方を横切らんとし重傷を負へ廿分後に絶命したと

懸賞花見假裝 同業警備時報社にては来る十九日花見假裝行列を懸賞にて主催する事となり種々準備中だが各商店からの寄贈品多數ある由

花時 困つた天氣 又雨の觀測 石城郡小名濱測候所の觀測に依れば目下北支那に起つた低氣壓が北海道方面に向つて進行しつつある影響を受け石城郡地方は明日迄は半晴半曇の状態を續け明後日頃からは又雨になるだろうとの事である

平町人事 出生 大工町七 丹野利松氏長男晴司 胡麻澤一〇〇 小曾納夏吉氏二女 千代子 南町字六地蔵二二 市川スツ私生子子

婚姻 才植小路三〇 電氣機械商店員中村作次郎氏(四) 鹿島縣白河八郡柳倉町字長町(三四) 白川スイ(二二) 双葉郡大久村字連郷五セメン 下會社職工橋愛藏氏(二二) 新川町四 丹野ツヤ(十九)

死亡 七軒町三九 源三氏六女田巻マツ(四九) 搔搔小路一 角田マヨ(七七)



家庭の庭

訪問と應接の心得(八) 人によつては珍客來とばかりにお茶、コーヒーは素より菓子、果物菓子など、矢次早に御馳走をならべ無暗

一般の好みとしても之が動かぬ處だらうが草花類を扱つた物も仲々好いものがあるとして刺繍物は大概縮緬地外にはシャルムーズの物もあり廿歳前後向きとして藤色淡紅色〇脂等の明るい縮緬地に刺繍した物が大概三圓前後三十歳前後として藤〇脂等の稍濫い物等も大略似た値を示し普段用としてシャルムーズ三圓前後無地では縮緬小二圓前後の値を示してゐる

憲政新聞廢刊 憲政會の機關紙と稱して居た磐城憲政新聞は本日廢刊届を提出した

近來の 夫は草花やさくら等の枝や葉まで巧に取り入れ或は直線的に取扱つたり唐草風にあしらつたりした物等もあり仲々面白い西洋草花を應用した物等は若い令嬢向きとして最もふさはしい時代の傾向として多少大柄でばつとした物も見えてゐるが元來半襟なる物は着物の襟に半ばかくれてチラと可愛らしい美しさを見せるべき物なのだから大柄の物は餘り受けがよくないこの事春向きとしてさくらの模様が一番多數を占めて居り

花時 困つた天氣 又雨の觀測 石城郡小名濱測候所の觀測に依れば目下北支那に起つた低氣壓が北海道方面に向つて進行しつつある影響を受け石城郡地方は明日迄は半晴半曇の状態を續け明後日頃からは又雨になるだろうとの事である

平町人事 出生 大工町七 丹野利松氏長男晴司 胡麻澤一〇〇 小曾納夏吉氏二女 千代子 南町字六地蔵二二 市川スツ私生子子

婚姻 才植小路三〇 電氣機械商店員中村作次郎氏(四) 鹿島縣白河八郡柳倉町字長町(三四) 白川スイ(二二) 双葉郡大久村字連郷五セメン 下會社職工橋愛藏氏(二二) 新川町四 丹野ツヤ(十九)

死亡 七軒町三九 源三氏六女田巻マツ(四九) 搔搔小路一 角田マヨ(七七)

春の顔は柄半襟の實寫

女の顔を引立たせるに半襟は最も重要なものだが殊に春先きの暖いのみならず春分には一入はつきりとした効果を覺えさせられる然し長い

傳統

習慣によつて半襟の柄なるものは或型を辿つて來た爲めどれもこれも陳腐な物が多いがこれの春の流行として店頭に現れた物を見ると近來著しく柄が實質的になり今迄は例へば花なら花ばかりを刺繡したものが

近來の

夫は草花やさくら等の枝や葉まで巧に取り入れ或は直線的に取扱つたり唐草風にあしらつたりした物等もあり仲々面白い西洋草花を應用した物等は若い令嬢向きとして最もふさはしい時代の傾向として多少大柄でばつとした物も見えてゐるが元來半襟なる物は着物の襟に半ばかくれてチラと可愛らしい美しさを見せるべき物なのだから大柄の物は餘り受けがよくないこの事春向きとしてさくらの模様が一番多數を占めて居り

花時

困つた天氣 又雨の觀測 石城郡小名濱測候所の觀測に依れば目下北支那に起つた低氣壓が北海道方面に向つて進行しつつある影響を受け石城郡地方は明日迄は半晴半曇の状態を續け明後日頃からは又雨になるだろうとの事である

平町人事

出生 大工町七 丹野利松氏長男晴司 胡麻澤一〇〇 小曾納夏吉氏二女 千代子 南町字六地蔵二二 市川スツ私生子子

婚姻 才植小路三〇 電氣機械商店員中村作次郎氏(四) 鹿島縣白河八郡柳倉町字長町(三四) 白川スイ(二二) 双葉郡大久村字連郷五セメン 下會社職工橋愛藏氏(二二) 新川町四 丹野ツヤ(十九)

死亡 七軒町三九 源三氏六女田巻マツ(四九) 搔搔小路一 角田マヨ(七七)